

留学先研究テーマ発表

おかやま若者 壮行会で学生4人
応援事業



学生が留学先での研究テーマを発表した壮行会

4人が、留学先での研究テーマを発表した。4人は来月以降、オーストラリア、英国などの大学に最長1年留学する。就実大4年丸山悠那さん(21)は、台湾で日本企業への就職意向を調査。海外展開する企業と外国人の橋渡しを目指す事業構想を披露した。フィンランドで、倉敷帆布と北欧のデザインの融合について研究する県立大3年村上加奈子さん(20)は「帆布の魅力をさらに高め、世界へ発信したい」と述べた。

壮行会には関係者ら45人が出席。岡山経済同友会の松田正己代表幹事(山陽新聞社社長)らが「多くを学び、岡山の活性化に貢献してほしい」などと激励した。

岡山県や岡山経済同友会などによる海外留学支援制度「おかやま若者グローバルチャレ」が26日、岡山市内で開かれた。選考を経た就実大、県立大の学生

「シ」応援事業」の壮行会が26日、岡山市内で開かれた。選考を経た就実大、県立大の学生

同事業は、学生の国際的な視野を育む目的で2015年度から実施。本年度は県内31社

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。